決算に対する討論

平成22年度決算は、起立多数をもって認定されましたが、5名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

新政海クラブ　賛成

一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。

▽海老名駅駅舎部自由通路や（仮称）南伸道路が完成し、長期的な展望に基づく都市基盤整備を推進しました。▽小中学校のエアコン整備とトイレ改修が完了し、快適な学習環境が確保されたほか、待機児童解消に向け、民間保育所の施設整備助成と中新田保育園増改築事業に着手しました。▽防犯灯の水銀灯から蛍光灯へ切り替え、肺がん個別検診の導入など市民の健康や生命財産を守る事業を展開しました。▽産業の活性化に向けた事業では、企業立地促進を図りました。▽公用車として電気自動車を導入しました。東日本大震災で自然エネルギーが見直されています。さらなる推進を望みます。▽（仮称）市民活動支援施設建設に向けた設計を実施しました。多機能施設として有効活用を期待します。▽イメージキャラクターの「えび～にゃ」は人気があり、海老名の魅力のひとつになりました。▽東日本大震災の対応は迅速かつ的確でした。▽財政指標について、県内トップクラスの健全財政を堅持しています。以上の点を評価します。

平成22年度　歳入歳出決算の状況　（金額の単位は円）

区分	歳入決算額	対前年度伸率	歳出決算額	対前年度伸率	歳入歳出差引額
一般会計	37,868,357,430	▲ 2.3%	36,093,243,860	▲ 2.1%	1,775,113,570
特別会計	20,056,854,512	0.8%	19,593,818,311	0.6%	463,036,201
国民健康保険事業	11,433,800,538	3.9%	11,242,801,220	2.6%	190,999,318
下水道事業	2,959,792,989	▲14.0%	2,869,446,604	▲12.3%	90,346,385
老人保健医療事業	10,187,215	▲83.5%	10,187,215	▲80.6%	0
介護保険事業	4,750,027,469	5.1%	4,603,526,341	6.0%	146,501,128
後期高齢者医療事業	903,046,301	4.9%	867,856,931	2.2%	35,189,370
合計	57,925,211,942	▲ 1.2%	55,687,062,171	▲ 1.1%	2,238,149,771

民主・みんな・無所属　賛成

一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。

▽景気低迷や少子高齢社会の進行により市税が3年連続で減少した上、扶助費の増加に伴い、歳出に占める民生費の割合が高くなりましたが、基金と市債のバランスに留意しながら、まちづくりを着実に推進しました。▽コミュニティセンター大規模改修事業について、地元自治会や住民の要望を取り入れた改修がなされ高く評価します。▽（仮称）市民活動交流施設工事について、市民ニーズを的確に把握し、対応するよう要望します。▽中学校における弁当併用外注方式導入について、市長、教育委員会の英断を高く評価します。▽市内全小中学校への空調設備導入や、トイレ改修について、子どもの学習環境の向上に努めました。▽海老名駅と南部地域を結ぶ（仮称）南伸道路や市道8号線の交差点整備事業をはじめ、あゆみ橋の整備事業など道路整備事業は時期を得た施策として、高く評価します。▽さがみ縦貫道路海老名インター出入り口の交通渋滞解消と厚木駅周辺のさらなる整備促進を願い賛成討論とします。

日本共産党　反対

下水道事業、老人保健医療事業、介護保険事業の特別会計決算には賛成しますが、一般会計決算とその他2特別会計決算には反対します。

▽海老名駅駅舎部自由通路について、総事業費91億円のうち市負担額が53億円となっています。負担割合に疑義があるため、認められない。▽（仮称）市民活動支援施設の健康増進棟について、人口規模が同程度の他市で4つの公営屋内プールを持つところは皆無です。年間1億9000万円の維持管理経費が掛かるプールは必要ありません。▽小中学校の水泳授業を屋内プールで実施する方針により順次学校プールが解体されます。十分使用できるプールを解体することは問題です。▽企業立地促進条例に基づく奨励金を大企業のリコーに対し支出したことは、市民の雇用もなく理解できない。▽国民健康保険事業について、保険税が高いため、滞納者と無保険者が増大しています。国保財政調整基金を活用し、1世帯当たり1万円の引き下げを行うべきです。▽後期高齢者医療事業について、75歳を過ぎただけでこれまでの保険から切り離される制度は、許されません。

海政会　賛成

一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。

▽海老名駅駅舎部自由通路の完成は、西口の区画整理事業に拍車が掛かり、大きな投資が期待されます。海老名駅の東西一体化は、より一層の繁栄をもたらすものと評価します。▽東名高速道路との交差部分を非開削工法で貫通させ、念願の（仮称）南伸道路が開通しました。さがみ縦貫道路海老名インター開通に伴う周辺アクセス道路整備と併せて道路行政に力点を置いた施策を評価します。▽年度末に市の負担が伴う事業であっても、国から示されたことを引き受け実施したことは、住みよいまちづくりに寄与するものと判断し、評価します。▽しかし、市税が3年連続減少している中で、大型事業が継続して実施されていることは、過去の他市の例を見ると心配な側面もある。財政指標県内トップクラスの海老名市においては杞憂に終わることを願います。▽下水道事業特別会計以外の4特別会計については、社会保障と税の一体改革以外に抜本的解消はなく、基本的方策と高齢社会に対する真剣な対応を国に対し求めることを要望します。

公明党　賛成

一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。

▽海老名駅駅舎部自由通路が完成し、供用開始されました。鉄道3線の結節点、交通の要所として海老名の顔が向上したことを評価します。西口への自由通路延伸でさらなる利便性向上を期待します。▽しばらくの間、厳しい財政状況が続くと思われるが、徹底的な事業の見直しや行政改革推進により健全財政を堅持することを願います。▽市民サービスの早期実現を図るため、年度途中に交付決定を受けて次年度以降の事業を前倒しで実施したことは、特定財源確保に向けた最大限の取り組みと評価します。▽繰越明許が多いという意見もありますが、時流を読んだ取り組みと高く評価します。▽（仮称）市民活動支援施設は、老朽化した施設を統廃合し、市民活動支援、健康保持増進など多様化する市民ニーズに対応した施設と判断します。▽小児医療費助成制度拡充は、県内最高水準であり、子育て世代の経済負担を軽減しました。さらに制度拡充されるよう期待します。▽全国初の試みであった還暦式と成人式の同時開催は好評でした。

明るく広くなった自由通路

詳しい内容は会議録で

９月定例会の会議録を作成中です。12月には市役所１階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。市のホームページでも見ることができます。

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、**11月25日（金）の午後５時15分までに**提出されますと、12月定例会で審査または議員配布されます。（それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。）

詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

政務調査費収支報告が閲覧できます

7月から市ホームページで前年の政務調査費収支報告を閲覧することができるようになりました。

「平成22年度収支報告書」は、同ホームページから、**「市議会」→「政務調査費」→「平成22年度収支報告書」**をクリックして聞くことができます。

※政務調査費とは、地方自治法第100条第14項及び15項の規定に基づき市から議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に対して交付される経費のことです。

平成22年度収支報告書

平成22年度　政務調査費収支報告書

※ 会派名は、海老名市議会政務調査費の交付に関する条例第2条に規定している会派です。

会派名（所属議員数）	新政海クラブ（9人）	民主・みんな・無所属クラブ（4人）	日本共産党 海老名市議員団（3人）	海政会（3人）	公明党 海老名市議員団（2人）
交付額	1,944,000	864,000	648,000	648,000	432,000
研究研修費					